



伊賀市議会だより

No. 12
平成20年2月1日



島ヶ原保育所「子どもフェスティバル」



笑顔がいっぱい



ひとが輝く 地域が輝く

～住みよさが実感できる自立と共生のまち～

目次

- 議会報告会・甲賀市との議長対談・P 2～P 3
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P 4～P 8
- 常任委員会付託案件審査・・・・・・・・P 9
- 12月定例会の審議結果・・・・・・・・P10～P12

議会報告会の様子をお知らせします

市民と議員が自由に情報及び意見交換ができるよう、議会基本条例に基づき「議会報告会」を開催させていただきました。
この議会報告会は、住民自治協議会単位で開催し、年一回行うものです。19年度は昨年7月より3回に分けて37会場で開催しています。



1月12日に行なわれた古山地区市民センターでの報告会

この議会報告会は、昨年7月、10月に開催し、本年1月、2月に開催しています。
話し合われた内容は主に議会の活動状況、予算等の審議状況、その他市政の諸課題などで、市民の皆様からも活発なご意見もいただきました。

これらご意見を議会でもまとめ検討をし、議会報告会班長会議で調整をした後市長宛に文書で報告をしました。
市長に報告した主な内容は、次のとおりです。

- 市駅前再開発事業について、市民のメリットとデメリットは
- 近鉄伊賀線の存続とJR関西本線、並びに路線バスの整合性を図りたい
- 自治協議会、自治会との関係の明確化
- 自治協議会について
 - 1 存続のため交付金（人口割均等割）の見直し
 - 2 協議会間の格差の是正（市としての支援体制の整備）
- 市街地の公共下水道について
- 多額の費用を要するので、合併処理浄化槽などでの手法の再検討
- 2 終末処理場位置の再考
- 市施設（ホール関係）の使用料が一律になっているが、遠隔地への集客等を考慮
- 行政バス運賃について、福祉の観点から地域間格差是正
- 危機管理について
 - 1 対策本部と支所の機能
 - 2 避難者に対する対応の不備（台風4号）
 - 3 障がい弱者に対する対応
 - 4 溜池の安全確認調査
- 新設学校への通学路の確保
- 市単独の農業の担い手の育成施策
- 期日前投票所を各支所単位に戻されたい
（結果：期間の差異はあるものの6支所に戻りました）
- 鳥獣害対策について
 - 1 捕獲者の拡大等規制緩和
 - 2 捕獲後の処理
 - 3 各地区において年々増加しているサル被害への対処
- 国道163号線の安全整備（歩道の設置、危険箇所の安全確認）
- 上野総合市民病院の充実

- 上水道の負担金等に対する見直し
- 消防団の減員にあたっては、全区一律ではなく、高齢化率など地区ごとの実情を十分調査、把握されたい
- 上野コミュニティバスの路線拡大など交通体系の見直し
- 農業活性化にむけた対策
- 市有地の草刈など管理の徹底
- 支所権限の明確化
- 土足で投票できるなど、投票所の整備
- 旧町村で行政として取組んでいた文化財指定など伝統ある事業は、自治協議会に委ねるのではなく、芭蕉祭同様、市行事とされたい
- 伊賀市と伊賀南部環境衛生組合との浄化槽汚泥処理費の格差の見直し
- 通学など歩行者の安全対策

以上、議会報告会実施要綱第10条第3項により7月、10月の報告を市長宛に提出しました。1月、2月の報告の結果につきましては、議会でもとめた後、伊賀市ホームページに掲載いたします。

10月以降の開催地区

班	議員名 (◎班長)			地区名	開催日時	場 所	地区名	開催日時 (平成20年)	場 所
1	◎岩田 佐俊	田山 宏弥	前田 孝也	小 田	10月10日(水) 15:00~	小田地区 市民センター	比自岐	1月19日(土) 15:00~	比自岐地区 市民センター
	桃井 隆子	宮崎 由隆	森野 廣榮	山 田	10月20日(土) 19:00~	大山田支所 北会議室	上 津	1月22日(火) 19:00~	上津地区 市民センター
2	◎松村 頼清	本城 善昭	大西 保定	上野南部	10月10日(水) 10:00~	南部地区 市民センター	依那古	1月26日(土) 19:00~	依那古地区 市民センター
	恒岡 弘二	森岡 昭二	前川 款昭	博 要	10月16日(火) 19:00~	博要地区 市民センター	鞆 田	1月20日(日) 15:00~	上友田いきいき センター
3	◎森永 勝二	北出 忠良	森 正敏	新 居	10月11日(木) 15:00~	新居地区 市民センター	ゆめが丘	2月16日(土) 19:00~	ゆめぼりす センター
	奥 邦雄	土井 裕子	本村幸四郎	猪 田	10月17日(水) 15:00~	猪田地区 市民センター	河 合	1月23日(水) 19:00~	阿山保健福祉 センター
4	◎葛原 香積	木津 直樹	森本 颯	友 生	10月5日(金) 19:00~	友生地区 市民センター	花 垣	1月15日(火) 19:00~	花垣地区 市民センター
	勝矢 節義	中岡 久徳	安本美栄子	柘 植	10月15日(月) 20:00~	柘植公民館 ホール	阿 保	1月25日(金) 15:00~	夢街道 阿保会館
5	◎今井 博昭	空森 栄幸	坂井 悟	久 米	中 止		神 戸	1月19日(土) 19:00~	神戸地区 市民センター
	英 成樹	山岡 耕道		丸 柱	10月26日(金) 19:00~	山村活性化 センター	布 引	1月19日(土) 15:00~	大山田南集会所
6	◎今井 由輝	渡久山カナエ	中本 徳子	花之木	10月5日(金) 19:30~	花之木地区 市民センター	きじが台	1月27日(日) 10:00~	きじが台集会所
	馬場登代光	小丸 勅司		桐ヶ丘	10月10日(水) 20:00~	桐ヶ丘 アミティー	古 山	1月12日(土) 15:00~	古山地区 市民センター

甲賀市と 議長対談を行う

甲賀市、伊賀市ともに忍者のまち。消防では防災協定を結んでいます。

議会として昨年は初めての正副議長、議会運営委員長、総務常任委員会の意見交換会が行われました。各市の情報交換や、議会としてのあり方など話し合い、1月7日には甲賀市議会議長と伊賀市議会議長の新春初対談を行いました。

- ・ 対談の内容は、次のとおりです。
- ・ 支所機能のあり方
- ・ 各支所の空き部屋活用の問題
- ・ 地域の交通問題
- ・ 地方財政が厳しい中で、市民の暮らし
- ・ 議会基本条例を制定した今の状況



甲賀市服部治男議長（左）と対談をする岩田佐俊議長

市政に対する



一般質問

去る、12月に開催されました第8回伊賀市議会（定例会）では、一般質問が12月11日から4日間行われ、16人の議員により市の諸問題について質問を行いました。

質問を行った議員

北出 忠良・森本 魁・葛原 香積・土井 裕子・坂井 悟・恒岡 弘二・森永 勝二
 宮崎 由隆・今井 由輝・奥 邦雄・本城 善昭・英 成樹・森 正敏・森岡 昭二
 渡久山カナエ・森野 廣榮

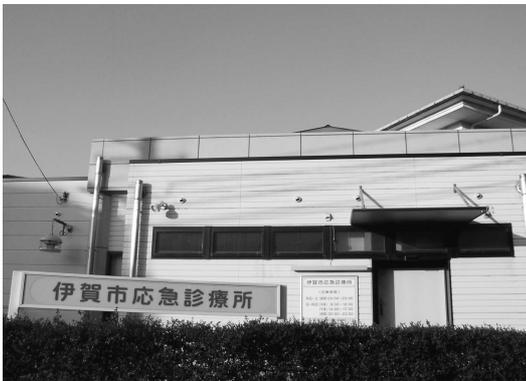
救急医療制度についての協議と医師確保は

（北出 忠良 議員）

Q 夜間における救急について、当番で担当する輪番制をどのように協議していますか。また、医師の確保対策について併せて伺います。

命を守るための仕組み作りを研究

A 夜間における救急体制は、伊賀、名張とも1対1の輪番で決定し、詳細については、現在協議中です。来年度の医師確保につきましても、まだ減っていく可能性がありますが、国の制度が悪く、どこで研修してもよくなった事で、地方に研修生が残らなくなり、医師不足に繋がっています。これからも大変厳しい状況の中ですが、市民の方々の命を守るための仕組み作りを、現在研究しているところです。



23時まで対応を行なう応急診療所

「輝く人、輝く地域」支援策について

（森本 魁 議員）

Q 各地域では、地域おこしのポイントに「歴史伝統の保持伝承」に置き、あらゆる資源を生かし、地域を輝かしめようと住民は努力しています。残念ながら今の予算はこれにこたえていません。5年間は触らない、地域が自由に使える予算を創設してはいかがですか。併せて住民に希望を与える施策として、機構改革を含め、支所の広義の福祉部門の充実が必要と思いますがどうですか。

地域おたのしみ予算を行い、機構を見直したい

A 歴史伝統行事は継続してほしいと思いますし、これに関する予算措置は出来る限り行ないたいと思います。ただし、合併後新設した地域交付金も評価していただきたいと思います。小さな本庁大きな支所の掛け声も、今は逆になっているのは事実です。住民サービスを低下させないために、生活に直結する部門の職員数が減少しないよう今後配慮したいと思います。

小学校の統廃合は

（葛原 香積 議員）

Q 150人の児童がいる中瀬小学校も、統廃合をしないといけない

のか。また、保護者や住民に対する説明は。

保護者や住民に理解を求めたい

A （仮称）城東中学校が平成21年度開校できる運びとなりました。府中小、中瀬小を統合する（仮称）上野東部地区小学校の設置に向けた組織を立ち上げていく予定です。区長会からは、「児童が150人である。今後も減少がそんなないことから、児童数が減少するまで中瀬小学校を存続して欲しい。」とするお話も賜っております。

城東中学校の統合が済めば、第2段階として地区内にある小学校の統合再編をさせていただく予定です。小学校であれば、一学年2学級以上すなわち400名程度の規模が子ども達の教育にとって、最も適したものと考えております。文部省の基準でもそのようになっております。地元の皆様のご希望を充分拝聴しながら、統合再編に向けて最善の努力を致す所存です。



中瀬小学校

“市場化テスト”の導入を

(土井 裕子 議員)

Q “地方革新新指針”では、3項目が追加され、①総人事費の改革 ②公共サービス（市場化テスト）改革 ③地方会計改革であります。中でも事業の仕分けを踏まえ、た検討を実施し、公共サービスを直す“市場化テスト”についてどのように取り組まれていますか。

民間活力ガイドラインを

策定していきたい

A 市場化テストの核心は、独占市場であります。公共サービス領域に対して、競争原理を導入することにより、公共サービスの質の向上とコストの削減を図ろうとするものです。本市では、“民間活力ガイドライン”を策定し、市民満足度を高めるとともに、財政基盤強化のために必要な市場化テストの導入等について、各業務ごとに検討できるように準備を進めていきたいと思えます。



支所機能と権限について

(坂井 悟 議員)

Q 合併後3年が経過しましたが、市民に理解を得られる合併になっていますか。職員の削減や権限の問題等、支所の機能と行政サービス低下が懸念されていますが、市民の市政に対する問題点や不信感をよく耳にします。自助、共助といった部分で各自協協では懸命に取り組まれています。行政がすべき公助の部分で支援が不十分ではないのか。こうした市民の声を受け、支所の権限や財政面を含め、どのように市政運営をしていくのですか。

自治基本条例により

市民にも協力を求めたい

A 合併では、地方分権による住民自治が柱になっています。市の自治基本条例にはそれぞれの役割と責務がうたわれていますが、未だに市民に十分理解いただけではないのが課題です。合併協では、“大きな支所、小さな本庁、サービスは高く、負担は小さく”といったかけ声もあり、分権自治の理念とは相反するところもありました。市民に多大な期待感を抱かせ、現実とのギャップを感じていると意見も承知しています。折りしも財政が年々悪化している中で、財源の確保と限られた予算の有効活用を努めるとともに、補完性の原則に則り、市民に対しても協力

を求めてまいりたいと思えます。



青山支所

教育「理不尽な親子」伊賀市の実態は

(恒岡 弘二 議員)

Q 『生徒の喫煙』を注意した先生に保護者から「誰にも迷惑をかけてる訳ではない。指導の必要はない」と。これは一例ですが、法治国家でこれが当たり前と思う親子に恐怖を感じます。『心無い』保護者の暴言、無理難題は後をたたく、過去5年間で3倍に急増していると聞きます。これらの対応で先生が心身を病み、休暇を余儀なくされています。『理不尽な親子』によって全体的子ども達の教育に支障が出ていると聞きますが、伊賀市はどうですか。また給食費未

払いはどうなっていますか。現在のところ報告はありません

A 教育委員会には極端に理不尽といわれるクレームはありません。ただ子ども同志の人間関係のいざこざを取り持つことができない先生の問題は聞きますが、誠意をもって対話を重ね、理解を得て行きたいと考えています。給食費未払いにつきまして前年よりはかなり増えております。中には生活苦で払えない家庭の実情もありますが、払えるのに払わない保護者には督促し、2ヶ月内に納付して頂けない場合は、法的手段も止むを得ないと考えています。



妊婦検診の充実を

(森永 勝二議員)

Q 妊婦の健康診査ですが、現在は前期・後期と2回について無料で実施されています。国民の要望を受けて厚生労働省から、1月16日に「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」という通知が出されました。それによると、公費負担については14回が望ましいとしながらも、最低限必要な検診は5回を示しています。全国的には14回実施しているところもあります。伊賀市はどうされますか。

5回の実施を約束

A 三重県内におきましても19年度中に何度か医師会、助産師会、産婦人科の医師会の3団体と協議いたしました。来年度から県下一斉に、5回それぞれの市町で制度を導入しようという話し合いになりました。伊賀市といたしましても20年度から5回を公費で実施致したいと思えます。



伊賀地域の医療体制をいかに

(宮崎 由隆議員)

Q 市長は、医局の研修医は難しい現状にあること。また、主治医が転出すること等を深刻に捉えておられます。そこで伊賀地域20万人の医療をどのように考えておられるのか。また、病院問題検討委員会では、何を検討しているのか伺います。

地域の医療を守るのは

市長の役目です

A 基本的には専門家によって、伊賀地域全体の病院のあり方を検討しています。名張市とも相談しながら検討して方向を出します。伊賀地域内で同規模病院が全診療科目を持つのは不合理であります。いずれにしても、今の医療体制を放置すれば、地域医療は崩壊しかねますので、専門家と検討してまいります。

小中学校統合の計画と、旧校舎施設の活用は

(今井 由輝議員)

Q 当市の小中学校の統合は、学校教育の中では重要施策であります。少子化の流れの中で、この問題をいち早く進めていくための、統合の計画と、旧校舎施設等の利用計画をどのように考えていますか。統合については地域の方や保護者

の皆さんとの話し合いが大切だと思いますが、その考え方を聞きます。



府中、桃青、崇広の一部を再編統合し城東中学校に

地域のための活用を考えることが望ましい

A 中学校では、府中、桃青と崇広の一部を再編統合して、平成21年度城東中学校開校。丸山、成和を統合して、平成24年度南地区中学校開校予定。小学校は平成25年度に再編を終える予定で、上野16校を8校に、阿山地区では小学校区再編検討委員会を設置、伊賀地区についても、校区再編をめざして懇談会を行なっています。校舎跡地につきましては、地域の方々を中心として、地域のための文化、福祉、産業振興施設、民間活用等を考えていただくことが望ましいと考えています。

支援対策に参入出来ない農業政策は

(奥 邦雄議員)

Q 本年産米は、かつてない安い価格になっていきます。その大きな原因の一つに、政府の農業政策にあると思います。政府の農業政策としてのハードルが高く、支援対策に参入出来ない農業者等は、売る自由、作る自由のもと、全国で5.2万haが生産調整未達成になっていきます。これらの原因を含めて農家は、また一段と厳しい状況になっています。今年度から始まった農業政策を含め、全部参入出来る様、再度進められないか伺います。

農家の意向にしっかりと

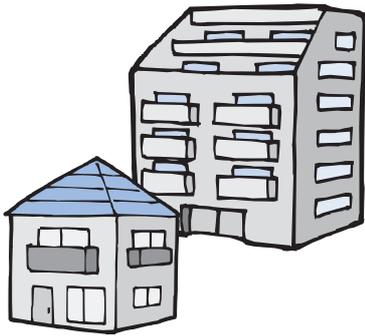
鋭意努力したい

A 水田農業はかつてない厳しい状況です。消費者ニーズと合わせて、消費の減少と生産過剰になっており、政府も緊急対策として、34万トンを備蓄米としております。価格下落対策を講じていますが、農家への影響は大きいと考えます。販売方法、国の支援対策を含め、農家の意向に鋭意努力をしていきたいと思えます。



中心市街地の住宅政策は (本城 善昭議員)

Q 中心市街地活性化計画での「まちなか居住」として、直接的な住宅供給ではなく、間接的に住環境を整えることが施策として掲げられています。今、中心市街地のまちなかでは、高齢者の居住者で50%を越えているのは3町もあり、高齢者居住の比率は周辺郡部と比べても歴然としており、若い人たちのまちなか居住の推進策としての、住宅供給は是非とも必要です。全国の中心市街地活性化計画で認定を受けた都市でも、共同住宅供給・共同賃貸住宅供給に対する助成策は一般的です。当市の相生町のマンションでも、既に29戸全てが入居済みで、100人を越す新たな居住者が増えています。高齢者居住の比率を下げる対策上からいってもまちなかでの住宅供給は必要であります。市長の見解を伺います。



今後検討していきたい

A 住宅供給に対する助成策は、中心市街地活性化での「まちなか居住」の推進策として、中心市街地活性化計画のなかで検討に値する、と考えます。

今後の行財政改革の進め方をどうするのか (英 成樹議員)

Q これまで伊賀市行政改革につきまして政策を精力的に進められてきました。今後もう一段の行財政改革を進めていく上で、どのような課題があるのかお聞かせ下さい

後期実施計画を策定します

A 行財政改革につきましては、平成18年に策定していただきました。行財政改革推進大綱に基づいて、平成18年から20年までの3年間の前期実施計画を行なってきたところです。今後につきましては、18年度と19年度の実績を検証した上で、平成20年から22年度の3年間の後期実施計画を策定し、実施する計画になっていきます。課題と致しましては、①市民と行政の役割分担の見直し ②民間委託の推進 ③財政の健全化 ④施設の統廃合などがあります。これには市民のみならず方への説明と、ご理解を得ることが不可欠であることから、職員の意識改革が必要であると思っています。内部的には、①

組織の効率化 ②人材評価を行なう必要があると思っています。



後期高齢者医療制度のPR方法は (森 正敏議員)

Q 75歳以上を対象とした新たな医療制度が実施されます。各県の広域連合毎に保険料を決めますが、三重の広域連合は、月4,675円になるようです。介護保険と同じく年金から天引きされますが、75歳以上の高齢者にとっては、大変な負担増で、老人福祉の観点からも冷たい制度と思えますが、所見を伺います。また、この制度をどのようにして高齢者に知ってもらうかをお伺いします。

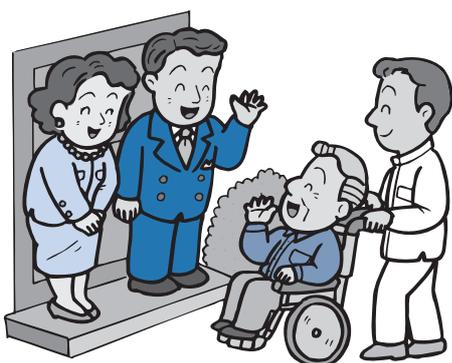
出前講座等やっていきます。

A この制度の背景にあるのは国の三位一体改革です。財政の「出」を制し、「入」を考えていないため、制度がスタートすると、高

齢者の悲鳴が聞こえてくる気がしますし、制度の統行は難しいと思います。PR方法は市の責務なので、出前講座等でしっかりやっていきます。

※後期高齢者医療制度について

後期高齢者医療制度に加入する直前に被用者保険の被扶養者であった方については、新たに保険料負担が課されることから、激変緩和のため、制度加入時から2年間は、応益割(均等割)を5割軽減し、応能割(所得割)は課されません。なお、平成20年度限りの措置として、4月から9月までは保険料を無料、10月から平成21年3月までは、年間均等割保険料の1/20のみを負担する時限措置が実施されます。



は75歳以上の医療制度はじまる

(森岡 昭二議員)

Q 平成20年4月から始まります75歳以上の医療制度で、市全体の人数は。保険料の算出基準は。支援金の額は。周知の徹底はどうか伺います。

周知徹底を行ないます

A 75歳以上の方は、市全体で1万4千人で、国保からは1万7百人の方が移行されます。

個々の保険料は、所得割と均等割で決定されます。財源は、国保等からの支援金3億5,337万円、国・県・市で50%で運営されます。周知につきましては、県政だよりやケーブルテレビ等、広報をはじめ小冊子、リーフレット等の配布と、老人クラブ連合会等へ相談をしながら出前講座を実施していきたいと考えています。



きもので歩く！伊賀上野

(渡久山カナエ議員)

Q きものは日本の民族衣裳であり文化遺産であるといえます。全国各地で、きものイベントが開催されていますが、伊賀は「くみひも」の産地で全国生産の90%のシェアがあります。伝統工芸品の指定も受けているくみひものPRと、歴史と文化あふれる伊賀上野の街を、気軽にきもので訪れていただいて、伊賀のよさを知っていただくイベントを開催されてはいかがでしょうか。

ユニークな発想、計画を立てたい

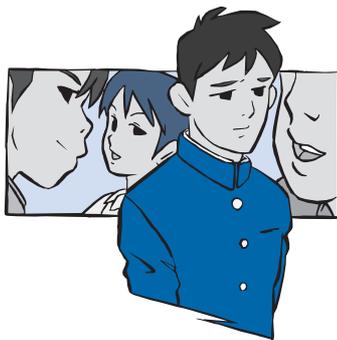
A 観光協会の会長もかつて同じ思いでおられました。くみひもの振興と観光企画も含めて、具体的に共通の思いを持たれている方が集まって、実現できる方法がないか相談してみたいと思います。初めは小さなイベントであっても定着していけば、伊賀鉄道などの振興も拡大が期待できるので、計画を立ててみたいと思います。



ネットいじめ、どう対応

(森野 廣榮議員)

Q 携帯電話や、パソコンによるインターネット上でのいじめが多発しています。伊賀市の調査では、各学年で10%〜20%『メールや掲示板で嫌な思いをしたことがある』とされています。ネット利用率も平均80%と多くの危険性も含んでいます。このような現状の中で、ネットによるいじめ等の専門相談窓口体制、保護者や携帯電話等の販売業者との連携、啓発の取り組みについてはどのようにされているのですか。



ガイドラインを作成

A 伊賀市におけるいじめは、平成19年度11月末現在で16件報告されており、中にはメールで死ねとか、チャットで特定の人の悪口を書いたりという事例もあります。インターネット上の掲示板等につきま

しては、閲覧できるものが13サイトあります。現在、教育委員会として各学年における携帯電話、パソコン掲示板のモニターリングシステムにて、毎日実態調査もしており、ルールやモラルの指導もしています。相談窓口につきましては、教育相談室と連携し、保護者に危機感や関心を持っていただけるよう、ルールづくりやネットワーク作りに取り組みたいと思います。業者には、フィルタリングソフトの普及、促進は県との連携もしながら取り組みや働きかけをしていきたいと思えます。

※フィルタリングソフトとは

インターネット上では、有害情報「ネットいじめ」につながる学校裏サイトや掲示板、子どもの心に傷を残すような犯罪や自殺、出会い系のサイト、個人情報を入力してしまいうなものや詐欺まがいのサイトなど多くの情報が載せられています。インターネット上に無数に広がる危険を未然に遮断することでインターネットアクセスを制御し、子どもを守る事を目的としたものが、フィルタリングソフトです。

★ 常任委員会

各常任委員会では、第8回定例会において付託された議案55件（うち継続1件）、請願2件（うち継続1件）について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

総務

付託 議案十八件

議案第161号

『伊賀市入札等監視委員会条例の制定について』

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、市が発注した工事等に係る入札及び契約の過程と内容の透明性、公正な競争性を確保するために、入札等を監視する委員会を設置するための条例を制定しようとするものです。

なお、この条例は平成20年1月1日から施行することです。

▼委員からは、委員5名の内訳はこの質疑がありました。

▼当局からは学識経験者、大学教授、弁護士、行政書士等であり、女性も登用したいとの回答がありました。

▼また、公開の範囲は議事録又は概略の公開か、との質疑がありました。

▼当局からは概略を公開しているとの回答がありました。

審査の結果、本案は全会一致で可決すべきものと決しました。

教育民生

付託 議案二十九件（うち継続一件）
請願 二件（うち継続一件）

議案第166号

『伊賀市市民活動支援センター設置条例の制定について』

同センターは平成17年4月1日に阿山支所西隣に設置しましたが、平成19年9月1日にゆめぼりすセンター内に移転し、拠点としての整備が整いましたことから条例を制定しようとするものです。

条例の主な内容ですが、事業内容、使用時間、使用者の範囲、設備の費用負担等を規定しています。

なお、この条例は、公布の日から施行することです。

▼委員からは、支援センターの利用時間について9時から22時までとなっているが市職員の勤務時間が8時30分から17時15分までであり、その後の22時までの時間については残業扱とするのか、遅出、早出の割り振りとしているのかとの質問がありました。

▼当局からは、市民センター職員は会議等予約があったときのみ22時まで、正規職員が1名、嘱託1名、アルバイト1名でローテーションされているとのことでした。

審査の結果、本案は全会一致で可決すべきものと決しました。

産業経済

付託 議案四件

議案第155号

『伊賀市農業振興地域整備促進協議会条例の制定について』

▽伊賀市農業振興地域整備促進協議会条例第3条第2項第6号で「市長が特に必要と認めたる」とあるが、この規定により委嘱している方はいるのか、また、どのような方を想定されているのか、との質疑がありました。

▼当局からは、現在、第6号に該当する委員は居ないものの、委嘱するとすれば学識経験者等である、との説明でありました。

▼また、当協議会は定期的に開催されているのか、との委員からの質疑がありました。

▼当局から、必要なときに開催されており、本年度は6月に開かれ、今月、12月にも開催される、とのことでありました。

審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。

建設水道

付託 議案四件

議案第170号

『伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について』

府中地区農業集落排水処理施設の、一般家庭及び事業所等の1戸当りの月額使用料金の基本料金を、現行の2,625円から3,150円に改め、経営の健全化と安定した維持管理を行うものがあります。

▼委員からは、料金改定については、地元の了解も得ているとのことであり異議はないが、料金が影響する汚泥の減量化について、どのように取り組むのかとの質疑がありました。

▼当局からは、汚泥減量化施設の整備については、汚泥処理施設が満杯で処理できない場合は国の補助対象となるが、現状では処理可能であり、現在のところ考えていないとのことでした。

審査の結果、本案は全会一致で可決すべきものと決しました。

12月定例会議案等の審議結果をお知らせします！

12月定例会での提出案件は、市長提出議案75件（うち継続1件）、議員提出議案2件、請願2件（うち継続1件）でした。各常任委員会、特別委員会で審査した後、本会議で下記のとおり議決しました。

■市長提出議案

議案番号	案	件	審査した委員会	議決結果
議案第109号	伊賀市知的障害者授産施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について		教育民生常任委員会	起立多数 可決

※採決は「賛成16、反対16」で賛否同数でしたが、事務局が数を取り違え議長が起立多数と宣言。議事を進めた後に気づいたため、地方自治法により再議決は認められず、「賛否同数の場合、議長の表決」で決まることから宣言どおり可決にいたしました。

賛成しなかった議員 北出・木津・空森・松村・森・森本・大西・勝矢・坂井・中本・桃井・中岡・宮崎・森永・山岡・前川

理由：保護者に対して説明が十分でない、理解を得られていない（坂井・宮崎）

指定管理者制度に反対（森永）

議案第115号	平成19年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第2号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第116号	平成19年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第117号	平成19年度三重県伊賀市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第118号	平成19年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第119号	平成19年度三重県伊賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第120号	平成19年度三重県伊賀市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第121号	平成19年度三重県伊賀市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第122号	平成19年度三重県伊賀市サービスエリア特別会計補正予算(第1号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第123号	平成19年度三重県伊賀市大山田財産区特別会計補正予算(第1号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第124号	平成19年度三重県伊賀市病院事業会計補正予算(第2号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第125号	平成19年度三重県伊賀市水道事業会計補正予算(第2号)		予算特別委員会	全会一致	可決
議案第126号	伊賀市行財政改革推進委員会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第127号	伊賀市指定管理者選定委員会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第128号	伊賀市職員採用試験委員会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第129号	伊賀市まちづくり委員会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第130号	伊賀市交通計画協議会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第131号	伊賀市地域公共交通会議条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第132号	伊賀市外国人住民協議会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第133号	伊賀市民美術展覧会運営委員会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第134号	伊賀市行政情報番組検討委員会条例の制定について		総務常任委員会	全会一致	可決
議案第135号	伊賀市給食センター運営委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第136号	伊賀市障がい児就学指導委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第137号	伊賀市立学校結核対策委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第138号	伊賀市生涯学習推進委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第139号	伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第140号	伊賀市子ども健全育成施策検討委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第141号	伊賀市地域活動支援事業審査会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第142号	伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	起立多数	可決

賛成しなかった議員 勝矢

議案第143号	伊賀市一般廃棄物の収集、運搬、処分及び浄化槽清掃業の委託、許可、更新等（取消し及び停止を含む。）に関する審査委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第144号	伊賀市環境保全負担金条例の一部改正について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第145号	伊賀市障がい者介護給付費等の支給に関する審査会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第146号	伊賀市障がい者地域自立支援協議会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第147号	伊賀市地域福祉計画推進委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第148号	伊賀市老人ホーム入所判定委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第149号	伊賀市保育所（園）あり方検討委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第150号	伊賀市少子化対策推進委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第151号	伊賀市地域密着型サービス運営委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第152号	伊賀市地域包括支援センター運営協議会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第153号	伊賀市予防接種健康被害調査委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	全会一致	可決
議案第154号	伊賀市同和公営住宅運営委員会条例の制定について		教育民生常任委員会	起立多数	可決

賛成しなかった議員 森永

理由：一般の市営住宅と同様の対応をすべき（森永）

伊賀市議会だより 2008.2.1

議案番号	案 件	審査した委員会	議決結果
議案第155号	伊賀市農業振興地域整備促進協議会条例の制定について	産業経済常任委員会	全会一致 可決
議案第156号	伊賀市農業経営基盤強化促進協議会条例の制定について	産業経済常任委員会	全会一致 可決
議案第157号	伊賀市森林管理協議会条例の制定について	産業経済常任委員会	全会一致 可決
議案第158号	伊賀市勤労者福祉会館条例の一部改正について	産業経済常任委員会	全会一致 可決
議案第159号	伊賀市道路等愛称名検討委員会条例の制定について	建設水道常任委員会	全会一致 可決
議案第160号	伊賀市都市マスタープラン策定委員会条例の制定について	建設水道常任委員会	全会一致 可決
議案第161号	伊賀市入札等監視委員会条例の制定について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第162号	伊賀市副市長定数条例の一部改正について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第163号	伊賀市史編さん条例の制定について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第164号	伊賀市表彰条例の制定について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第165号	俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞授賞に関する条例の制定について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第166号	伊賀市市民活動支援センター設置条例の制定について	教育民生常任委員会	全会一致 可決
議案第167号	伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第168号	伊賀市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第169号	伊賀市立学校設置条例の一部改正について	教育民生常任委員会	全会一致 可決
議案第170号	伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設水道常任委員会	全会一致 可決
議案第171号	権利の放棄について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第172号	伊賀市・名張市広域行政事務組合規約の変更に関する協議について	総務常任委員会	全会一致 可決
議案第173号	指定管理者の指定について 賛成しなかった議員 森永 理由：養護老人ホーム「偕楽荘」の指定管理者の移行に反対（森永）	教育民生常任委員会	起立多数 可決
議案第174号	指定管理者の指定について 賛成しなかった議員 森永 理由：鞆田地区介護予防拠点施設いきいきセンターの指定管理者の移行に反対（森永）	教育民生常任委員会	起立多数 可決
議案第175号	伊賀市一般廃棄物処理基本計画（ごみ編）の策定について 賛成しなかった議員 松村・森・勝矢・坂井・中本・桃井・宮崎・森永・前川 理由：溶融炉、RDFを基本とするごみ処理計画に反対。また、ごみ袋有料に反対（森永） ごみ袋有料化をすることにより、ごみ減量につながるのか。また、正当かどうか疑問に思う。分別においても名張市との基本計画と相違がある（宮崎）	教育民生常任委員会	起立多数 可決
議案第176号	伊賀市生活排水処理基本計画の策定について	建設水道常任委員会	全会一致 可決
議案第177号	監査委員の選任について		全会一致 同意
議案第178号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第179号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第180号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第181号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第182号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第183号	伊賀市後期高齢者医療に関する条例の制定について 賛成しなかった議員 森永 理由：高齢者の医療を抑制する制度の導入に反対（森永）	教育民生常任委員会	起立多数 可決
議案第184号	伊賀市国民健康保険税条例の一部改正について 賛成しなかった議員 森永 理由：65歳以上74歳の保険料を年金から引くことに反対（森永）	教育民生常任委員会	起立多数 可決
議案第185号	伊賀市国民健康保険条例の一部改正について	教育民生常任委員会	全会一致 可決
議案第186号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第187号	公平委員会委員の選任について		全会一致 同意
議案第188号	教育委員会委員の任命について		全会一致 同意

■議員提出議案

発議第14号	地方財政の強化・拡充、及び財政健全化法の施行にあたっては地方自治原則の堅持を求める意見書（案）の提出について		全会一致 可決
発議第15号	福祉医療費助成制度の見直し案に係る意見書（案）の提出について		全会一致 可決

■請願

議案番号	案 件	審査した委員会	議決結果
請願第25号	養鶏場による生活環境水準悪化に伴う行政指導の強化を求めることについて	教育民生常任委員会	(継続することに) 可決

継続することに賛成しなかった議員 本城・渡久山・中本・恒岡・土井・森永・安本・山岡・小丸・森野・本村
理由：養鶏場からの悪臭、粉塵、騒音の改善を求める願意妥当につき継続に反対（森永）

請願第28号	公害（悪臭・騒音）等に関することについて	教育民生常任委員会	(継続することに) 可決
--------	----------------------	-----------	--------------

継続することに賛成しなかった議員 恒岡・宮崎・森永
理由：企業からの悪臭、騒音について願意妥当と判断、継続に反対する（森永）

※欠席及び自席にいなかった議員

- 今井博昭（議案第109号、議案第115号～188号、発議第14～15号、請願第25号、請願第28号）
- 本城善昭（発議第14号）
- 今井由輝（請願第25号）
- 桃井隆子（発議第14～15号、請願第25号、請願第28号）

平成20年第1回臨時会議案等の審議結果をお知らせします！

平成20年1月15日第1回臨時会が開催され、市長提出議案1件、議員提出議案1件を議決しました。

■市長提出議案

議案第1号	伊賀市知的障害者授産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	起立多数	可決
-------	--	------	----

賛成をしなかった議員 大西、坂井、桃井、中岡、宮崎、森永
理由：同一の指定管理者を置くことにより自立支援につながると思う。5年の指定を2年ぐらいいおさえればどうか（坂井）
指定管理者制度そのものについて反対（森永）

■議員提出議案

発案第1号	前総務部長問題調査特別委員会の設置について	起立多数	可決
-------	-----------------------	------	----

賛成をしなかった議員 桃井、恒岡、中岡、森岡、葛原
理由：公判を終え、もう少し状況を見たうえで設置してはどうか（葛原）

※欠席した議員

- 木津直樹 議案第1号、発議第1号
- 渡久山カナエ 議案第1号、発議第1号
- 今井博昭 議案第1号、発議第1号



3月定例会の開催日程（予定）
3月定例会は、2月28日（木）から3月25日（火）までの会期27日間の日程で開催の予定です。

2月28日（木）	本会議 開会
	議案上程
	提案説明
	委員会付託
3月5日（水）	本会議 代表質問
6日（木）	本会議 一般質問
7日（金）	本会議 一般質問
10日（月）	本会議 一般質問
12日（水）	予算特別委員会
13日（木）	予算特別委員会
14日（金）	予算特別委員会
17日（月）	各常任委員会
19日（水）	各常任委員会
25日（火）	本会議
	委員長報告
	採決
	閉会

※ 本会議及び予算特別委員会は市役所2階市議会議場で、委員会は2階市議会第1委員会室で開催されます。
※ 時間は、いずれも各常任委員会をのぞき、午前10時から開催の予定です。
※ 変更される場合もありますので文字放送でお知らせします。ご確認ください。

お問い合わせ 伊賀市議会事務局

電話 22-9687